

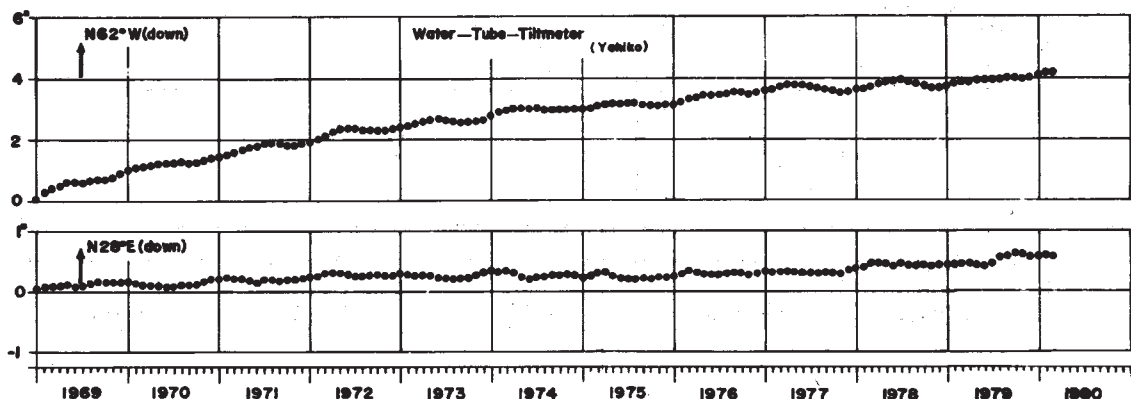
4 - 2 佐渡弥彦地方における地殻変動 (7)

Crustal Movements in Sado-Yahiko District (7)

東京大学地震研究所 弥彦地殻変動観測所
Yahiko Crustal Movement Observatory,
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

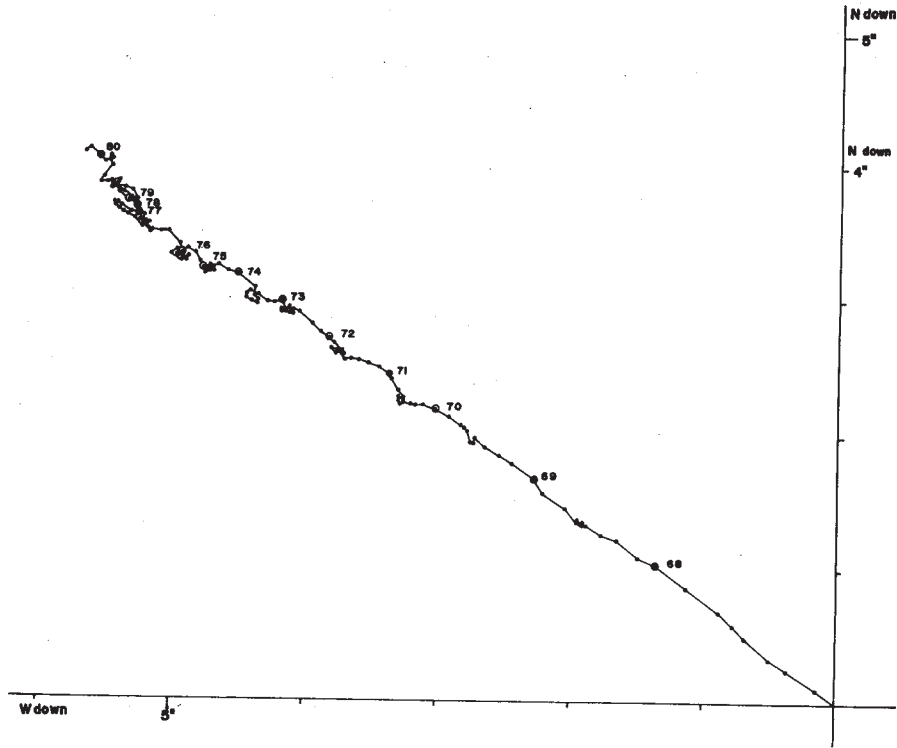
前報 (地震予知連絡会報, 第20巻 (1978), 144 - 146) に引続き, 1980年3月までの観測結果を報告する。

1. 第1図は弥彦観測所における土地傾斜の経過 (月平均値), 第2図はそれから作成した傾動ベクトル図である。いずれにも最近, 格別の異常は見出されていない。
2. 第3図は寺泊港における検潮結果 (半月平均値) である。気圧・水温等は未補正であり, いずれ最寄りの検潮所記録との差を求めて地殻変動調査に役立てたい。
3. 小木半島宿根木 (佐渡) の海岸において毎年1回オートレベルによる簡易傾動測量を繰り返しているが, 第4図はその結果を時間経過に示したものの, また第5図はさらにその値から求めた傾斜ベクトルの図である。いずれにも特に大きな変化は見られない。

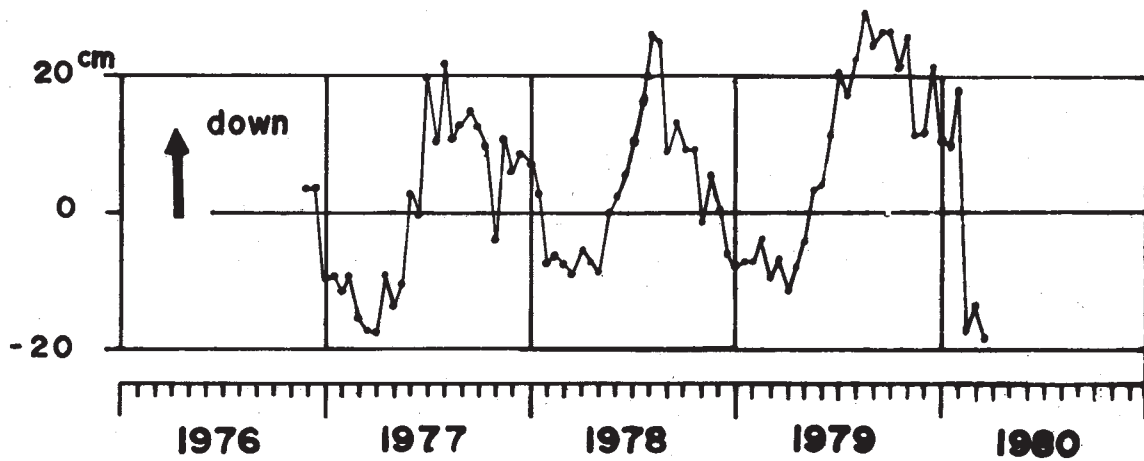


第1図 弥彦における水管傾斜計の月平均値

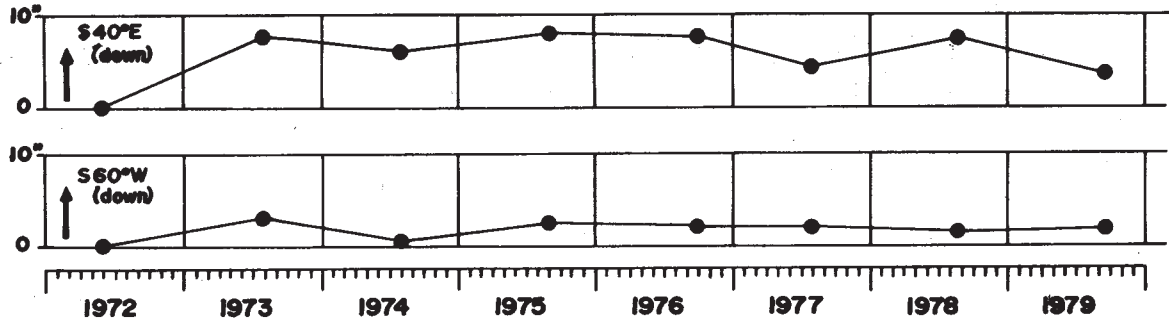
Fig. 1 Ground tilt at Yahiko (monthly mean value, water-tube tiltmeters).



第2図 前図資料から求めた傾動ベクトル
 Fig. 2 Tilt vectors as deduced from the previous data.

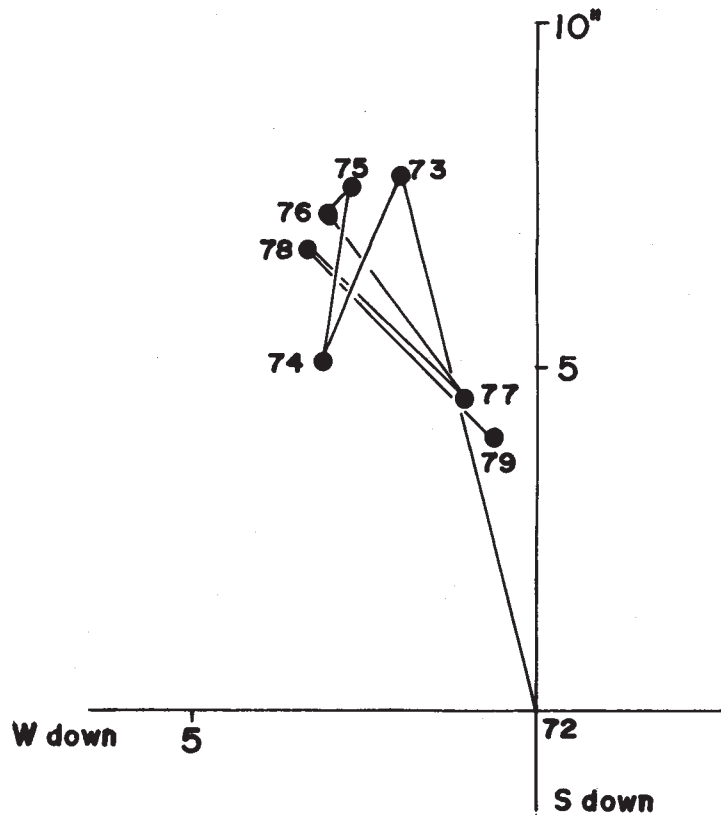


第3図 寺泊における潮位変化（半月平均値）
 Fig. 3 Sea-level change at Teradomari (semi-monthly mean value).



第4図 小木半島宿根木（佐渡）における簡易傾動測量

Fig. 4 Ground tilt at Shukunegi, Ogi Peninsula, Sado (quadrilateral short-range leveling).



第5図 前図資料から求めた傾動ベクトル

Fig. 5 Tilt vectors as deduced from the previous data.